椅子づくりは冒険

誰もやったことのない形 アイデアが図面飛び出す

家具モデラーという職業がある。デザイナーの理想をくみ取り、現実的な技術に置き換えて開発・試作する仕事だ。宮本茂紀さん(79)は椅子の分野で草分け的存在として知られる。

「これは馬の毛。弾力があるので昔はよく使われていました」。東京都品川区の五反田製作所。1950年以上前の古典的な椅子作りに取り組む宮本さんの姿があった。コイルスプリングの上にヤシの実と藁の繊維を重ね、馬毛を手で細かくほぐしながらのせていく。現在の椅子は中身の大半がウレタンフォームだが、昔は様々な素材を重ねて作られていた。手間はかかるが、へたりにくく姿も美しい」と説明する。

日本の椅子作りは1859年の横浜港開港の折りに始まったといわれる。当時の椅子の魅力を後世に伝えたい、というデザイナーの依頼で試作をはじめた。図面をもとに、先方の考えを推し量りながら構造や素材を検討する。

だが単に書かれた通りに作るのではない。「後ろ脚はね、座ったときに沈み込むようにしてみました。自分なりに工夫を加えた提案をし、形にできるのが宮本さんの特徴だ。「誰もやったことのないこと」を形にしたい。「アイデアの豊富さが多くの依頼主に支持される。

40年以上前のことだ。デザイナーの川上元美さんとの仕事で、トチの木特有の「縮み」という、和を感じさせる模様を椅子に使うことを提案したことがある。最初は提案に否定的だった川上さんだが、数日たって「やっぱり使ってみよう」と受け入れてくれた。「あのときはうれしかった」。その後、川上さんはしばしば作品にトチの縮みを使用した。「できあがったときに『宮本さんが言ったとおりにして、やっぱり良かったね』と確認し合えるのが、モデラーとしてこのうえない幸せと振り返る。

中学卒業後、東京・深川の椅子職人に弟子入りした。以来64年間、椅子を作り続けている。最初の仕事は椅子の修復だった。椅子を解体し、中身を調べ補強して、新しい布地や革に張り替える。そこで得た技や経験が、糧となっている。迎賓館や鹿鳴館などの家具の修復にも携わり、「クラシックとモダン、欧州と日本など、さまざまな椅子の作り方を比較する中で気づいたことは多い」。

確かな技術に加え、誰に対しても臆せず飾らない人柄も多くの依頼相手をひき付ける。故白洲次郎・正子夫妻も自邸「武相荘」へよく宮本さんを招いた。今も残る革張りソファの張り替えや、次郎氏自らデザインした椅子の復刻も宮本さんの手によるものだ。「機械にはリスクが伴うが、いろいろな人と関わりながら冒険することはものづくりの面白さです」。齢80を前になお挑戦し続けたいですね」と語る。

ライター 鈴木里子

グラフィックデザイナー佐藤卓さんの依頼で、家具メーカーのワイス・ワイスと共に開発を手がける。今回の試作品は展示した際に椅子の内部がよく分かるよう、あえて断面を見せたつくりにしている

故白洲次郎がマッカーサーに贈った椅子の復刻では、クギやネジを使わずに組み立てる伝統的な技法「組み手」を活用した。旧白洲邸「武相荘」に展示されている

建築家の隈研吾さんが「アオーレ長岡」(新潟県長岡市)のためにデザインした椅子の開発も手掛けた。張り地が和紙でできている珍しいデザインに技術力が光る

この夏、香りを旅する vol.1

日常をラグジュアリーなバカンスへ誘う、トム フォードのフレグランス

目を閉じれば、聞こえてくるのははじける波の音、
木立を揺らす風のそよぎ、紺碧の海には船が浮かぶ。
この香りが誘うのは、花々と果実が彩る地上の楽園、輝く地中海だ。

この夏、香りにインスパイアされて地上の楽園へと誘われる――。そんなドラマティックな空想の旅を提案したい。たとえ都会にいても、香りの精華が感性に語りかけ、瞬時にはるか地中海へと心を運ぶフレグランス――それがトムフォードによる「ネロリ・ポルトフィーノ コレクション」だ。

旅のはじまりは、イタリアの美しいリビエラ海岸の避暑地ポルトフィーノ。

この街に降り立ち、さわやかな風に吹かれて海辺の散策を楽しみ、午睡をし、ゆったりと甘い時を過ごします。

やがて太陽に誘われて地中海を南下し、紺碧の海と白亜のヴィラのコントラストが鮮やかな海岸アマルフィへ。陽気な祝祭日を過ごしたら、船で海を渡って、島々の旅へ。白い砂浜に遊び、エキゾティックな夜へと、香りが物語を紡いでゆく。

トム フォード自身が、プライベートに真っ青な空に白い雲が浮び、陽光がきらめく季節。待ち焦がれたバカンスがやってくる。

地中海を旅するように創作したこのコレクションの中心となるのは、シリーズの代表作の一つである「ネロリ・ポルトフィーノ」、世界一美しい海岸線の町アマルフィを果実、ハーブの香りで表現した「マンダリーノ ディ アマルフィ」。碧の海岸、とも名づけられたその深いブルーの輝きを放つ「コスタ アジューラ」、あどけなく海岸沿いに咲き乱れるホワイトアカシアの香りをボトルに詰め込んだ「フルール ドゥ ボルトフィーノ」。

イタリアの避暑地をイメージソースに、木陰の涼風、サフィア色の澄んだ海、すがすがしい木々の緑…そんな楽園の風景を、端正でスタイリッシュなボトルに封じ込めている。

ひとつひとつのボトルはまるでサファイアの宝石のように、旅の記憶や幸福な時間を映しだし、この夏を特別なものへ昇華してくれるかのよう。

現代の真にラグジュアリーな世界を描きだすトム フォードが、日常を離れた遠い地中海へと誘ってくれる。

トム フォード ビューティ フレグランス 左から ネロリ・ポルトフィーノ アクア オード トワレ スプレィ 50ml/19,440円 ネロリ・ポルトフィーノ フォルテ オード パルファム スプレィ 50ml/37,800円 ネロリ・ポルトフィーノ オード パルファム スプレィ 50ml/30,240円 フルール ド ポルトフィーノ オード パルファム スプレィ 50ml/30,240円 マンダリーノ ディ アマルフィ オード パルファム スプレィ 50ml/30,240円 コスタ アジューラ オード パルファム スプレィ 50ml/30,240円 ※全て税込み価格

問 トム フォード ビューティ 03-5251-3541